

緊急**東北関東大震災関連**

報道関係各位

2011年4月2日(14:00時点)

民間災害支援団体「CIVIC FORCE」
南三陸町に手作り風呂「魚龍の湯」が完成
本日より利用開始

**被災した大工自らが南三陸町立歌津中学校内に設営
被災以来はじめてお風呂に入る方も**

国内の大規模災害時に迅速で効果的な支援を行う民間団体「公益社団法人 Civic Force (シビックフォース) (本部：東京都港区、代表理事：大西 健丞)」は、食料や風呂事情の悪い宮城県南三陸町において建設を進めていた手作り風呂「魚龍の湯(ぎよりゅうのゆ)」が完成したことを発表します。これは、現地で調達した廃材や東京から送った建材を利用して、3月30日より、地元の大工10人以上が力を合わせ、試行錯誤の中で設営したものです。

南三陸町内では、町内ベイサイド・アリーナに自衛隊が設営した風呂があり、各避難所の持ち回りで入浴することができます。しかし、風呂が限られているため、500人が避難する歌津中学校からは、週1回30人ずつ程度しか入浴枠が割り当てられていません。南三陸町の多くの被災者は、被災以来までお風呂に入ることができていません。

この手作り風呂の建設は、Civic Force が、パートナー団体の特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンと共同で進めている事業です。Civic Force とピースウィンズ・ジャパンの呼びかけに応じてくれた地元の大工さん10人以上が駆けつけ、Civic Force が調達・運送した資材で建設しました。風呂桶にあたるものは、漁港で使っていた大きなプラスチックケースです。また、水の提供等は、自衛隊が協力しています。加えて、お湯を沸かすための廃材や薪は、隣の歌津小学校に集積されているものから選び、歌津中学校に運搬して利用します。この作業には、歌津中学校内に避難する方々の有志がシフトを組んで担当していただきます。

完成を前に、設営を担当した大工さんによって、この風呂が「魚龍の湯(ぎよりゅうのゆ)」と命名されました。「魚龍」とは、9,000万年前に絶滅した海の爬虫類の一種で、南三陸町の

地域でその化石が発見されたものです。今から約 2 億 4 千万年前の「魚龍」も発見されており、その化石は国の天然記念物に指定されているものです。町のシンボルで、誇りに思う「魚龍」をこの風呂の名前として命名しました。

併せて避難所にいる子どもたちが、風呂に掲げる絵を現在ペイント中です。宿題もなく長い春休みに入っている子どもにとって、風呂に絵を描く「宿題」を任せられ、張り切って絵を描いてくれました。本日利用開始を前に、子どもたちが壁面にペイントして、被災者の気持ちをやわらげます。

Civic Force は、今後も地元大工さんや、東京から派遣する大工部隊とともに、町内に手作り風呂を設置し、被災者の生活環境の改善に貢献します。

▼壁面に「魚龍」の絵を描く子ども



▼ドラム缶の湯を沸かす



※現場では風呂を取材いただけます。

◆Civic Force について

国内の大規模災害時に迅速で効果的な支援を行うための NPO/NGO・企業・政府・行政の連携組織です。災害時支援に必要な【情報】【人】【資金】【モノ】が組織内で共有・活用されることで円滑で効果的な支援を可能にします。

東北関東大震災に関しては、地震発生翌日から現地入りし、①大規模物流事業、②技術者派遣事業を展開中です。物流事業では、現在 10 台の 4 トントラックを毎日定期運行し、現地のニーズが高い物資を 100 トン以上(累計)被災地に届けています。また、実効的な支援のための技術者派遣事業では、第一弾として大工を派遣し、仮設風呂を建設中です。

この活動に対しては、4 月 1 日現在、約 4 万人の方々から約 6.5 億円のご寄付をいただいています。※活動内容は、団体ホームページで毎日更新しています。<http://civic-force.org/>

◆報道関係者からの問い合わせ先:

公益社団法人 Civic Force 担当: 勝谷・坂本

TEL: 03-6804-6063、FAX: 03-6894-7562、Email: info@civic-force.org